

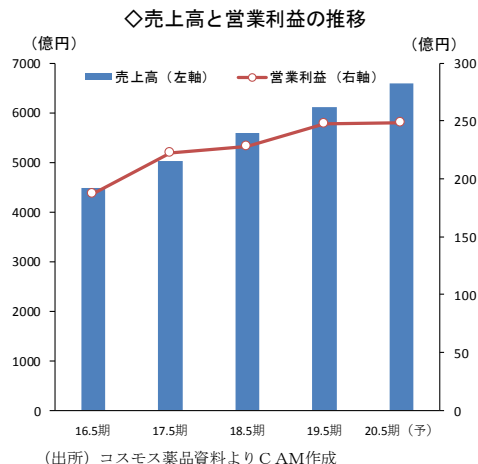
企業ニュース コスモス薬品

(東証1部: 3349) <http://www.cosmospc.co.jp/>

作成者: 荒木晶子

低価格戦略強化によるシェア拡大に期待

九州地盤のドラッグストアチェーン。店舗数は993店(19.5期末時点)。中国、四国、関西、中部へと出店エリアを拡大し、2019年には関東へ進出した。出店余地が広がり、さらに認知度が上昇しよう。当社の強みは価格競争力であり、食品を中心にエブリデイ・ロー・プライス(特売日を設けず、一貫して低価格販売を行う戦略)を推進しており、10月に予定されている消費税率引き上げ後は低価格販売戦略を強化する方針である。この戦略が好感され、シェア拡大が見込まれよう。また、19.5期の決算説明会において、薬剤師の採用強化など調剤事業の拡大に向けた取り組みについて言及しており、中長期での成長戦略として注目したい。



19.5期は11期連続の営業増益を達成

19.5期の連結業績は、売上高が6,111億円、前期比10%増、営業利益が248億円、同9%増。計画に対して、売上高で11億円、営業利益で18億円上振れて着地した。新店の寄与に加え、既存店売上高が前期比1.7%増と堅調に推移し増収となった。粗利益率は同0.1ポイント改善の19.9%と高水準を維持した一方、販管費率は人件費や販促費を中心に増加し、同0.2ポイント増の15.9%となった。新規出店は93店と、計画の100店を下回った。

20.5期の通期会社計画は、売上高が6,585億円、前期比8%増、営業利益が248億円、同微増。競合との価格競争の激化や消費税率引き上げの影響を懸念し、保守的な計画とした模様。既存店売上高は同1.0%増を前提としている。6月は前年同月比1.4%増と前期の堅調さを維持しており、順調なスタートとなった。粗利益率は同横ばい、販管費率は同0.3ポイント増を計画している。新規出店は90店と、前期から若干減速する計画。エリア別では九州・中国・四国の出店を減速し、関西・中部の出店を加速する。関東は2020年5月ごろから出店を本格化する予定。

[株価動向・投資判断]

関西・中部、関東での出店加速による認知度上昇や、徹底した低価格販売戦略によるシェア拡大が見込まれ、中長期での業績成長が期待できよう。

<3349 コスモス薬品 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
18.5	557,999 (11)	22,749 (2)	25,255 (3)	17,633 (▲ 3)	890.6	90.00
19.5	611,137 (10)	24,775 (9)	27,292 (8)	19,185 (9)	969.0	100.00
20.5 予	658,500 (8)	24,800 (0)	27,300 (0)	19,190 (0)	969.2	100.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価 (2019/7/22)	20,130 円
年初来高値(高値日)	21,550 円 (19/2/19)
同 安値(安値日)	16,850 円 (19/6/3)
予想 P E R (20.5 予)	20.8 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	6,378.4 円
P B R	3.16 倍
予想配当利回り	0.50 %
(1株当たり配当金年100.00円)	
R O E (19.5)	16.3 %
発行済み株式数	2,000 万株